



# 汐鳴り 二宮中学校学校だより

ホームページアドレス：ninomiya-junior-high-school.edumap.jp/

令和2年度

No. 5

発行：松本雅志

## ◎授業が始まっています

例年になく、雨が降り続いた梅雨でした。7月中旬には九州地方を始め、中国地方などでも大雨の影響で多大な被害が出ました。被害に遭われた皆さんには心よりお見舞い申し上げますと共に、1日も早い復興をお祈りいたします。

本校では、一斉登校が6月29日より始まり、生徒も学校生活のリズムを取り戻しつつあります。しかし、登下校時や授業中もマスクの着用は続いており、大きな声を出したり、近くで話し合いをしたりという事が出来ない為、先生方も授業の進め方にも工夫をして取り組んでいます。

来年度完全実施となる学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」を実践することで、これからの社会に通用する資質や能力を育てることがねらいとされています。「対話」には先生と生徒の対話、生徒同士の対話、自分自身との対話があります。コロナ禍の今、生徒同士の対話がなかなか進まないことが課題となっています。

反面、ICT機器を使った授業や、オンラインでの授業の取り組みが急速に進みました。文部科学省では生徒一人一人に1台ずつタブレットを配布し、全ての生徒が公平にICT環境の中で学習することを目指したGIGA (Global and Innovation Gateway for All) スクール構想を前倒して、今年度末には全ての生徒にタブレットを配布するように計画をしています。本校でも臨時一斉休業の際には、ホームページを通して学習動画を流しましたが、今後は双方向での授業展開がなされることでしょうか。

「禍福は糾える縄の如し」ということわざ通り、何事にも良い面と悪い面があります。コロナ禍で様々な制約がある中、知恵を出し合い少しでもできることを増やしたり、発想を変えて異なる側面から行動する事で「新しい生活様式」が充実したものとなるように取り組んでいきたいと思えます。



## ◎第1回学校運営協議会を行いました

昨年度より始まったコミュニティ・スクールに伴う、令和2年度の第1回学校運営協議会が7月16日に開かれました。今年度は、新型コロナウイルスの影響により、開催も遅れ、また協議においても昨年度の取り組みをどのようにつないでいくか、また、地域と学校をどのようにつないでいくかなどについて議論しました。

かつて、中学校では「ふれあいリサイクル」や「地域清掃」を実施してきました。しかし、様々な制約などから現在では行われていません。また、地域の防災訓練や行事への中学生の参加について、地域からの要望も出されています。このような学校と地域をつなぐ取り組みの重要性は指摘されてきましたが、生徒数の減少や地域社会の希薄化などの中で課題は山積しています。学校と地域がコミュニティ・スクールをどのように活用し、地域の中の学校として、地域再生の中心としてどう位置付けるか、今年度も話し合いを続けていきたいと思えます。